



きせき

秋草学園高等学校 卓球部通信
平成30年2月13日
第323号



卒業生からのエール

——平成26年度卒業の森田彩香さんから——

2月11日（日）教員採用試験の対策のために森田さんが来校しました。森田さんは私が秋草の顧問を引き受けた時の1年生です。ですので、新任の私から見て共に戦ってきた同期生ともいえます。中学校時代は県大会に出たのは1度だけ、本当に実績の無い選手でしたが、個人では東京選手権出場、団体ではインハイ・全国選抜出場と実績をあげました。そんな活躍した選手の話の話を直接聞き、少しでも選手の心に響けばと考えてこの機会を設けました。

以下はその時の話の概要です。

★ランクが7位とか8位に下がり、そのころ毎日泣いていたこと。★その時先生から朝練の前の朝練を提案され、2人でやったこと。★先生に嫌われていると思っていたが、この朝練に先生が私の為に付き合っ練習して頂いたことで、私は絶対強くなり、先生の期待に応えなければと思って必死に練習励んだこと。★今、採用試験の為に8～10時間毎日勉強しているけど、秋草で身につけた「やれば出来る」という自信が元になっていること。★秋草のメンバーでインターハイ出場という目標を立てて、それが達成できたときの嬉しさや喜びは今でも残っていて、一生の宝物になっていること。



雑煮会時の掲示です。

森田先輩の話を聞いて ○○ ○○

話を聞いてすごい人だなんて思いました。部内で7, 8番目だったのに東京選手権やインハイとか大きな大会に出られたという事はよっぽど努力したんだなって思います。中学の時県に個人で出られたのは1回だけと聞いて自分よりも結果が悪かったのに高校に入ってここまで強くなれるということは自分も努力すれば自分が思った以上に強くなれるかなって思いました。先生と朝練の前の朝練でマンツーマンで練習してたと聞いて羨ましいと思いました。今は出来ないけど、もしできたとしたら自分にそういうことを先生はしてくれるかなって思っています。今のままではだめだなんて思いました。久喜から毎日朝早く起きて練習するのは正直つらいけど通っている以上親にも迷惑かけてしまうから努力して強くなって引退する頃には良い成績を残せるようにしたいと思います。